

日本大学生産工学部では、大学からの知識の還元及び社会貢献を目的とした、公開講座を開催しております。令和5年度の開催状況は以下のとおりです。

令和5年度日本大学生産工学部公開講座開催状況（参考）

テーマ：公開講座～生産工学部によるSDGsへの挑戦～

・公開講座Ⅰ

タイトル：『プラスチックの将来は？-マイクロプラスチック問題とは？-』
講師：応用分子化学科 准教授 木村悠二
開催日：令和5年10月28日（土）13：00～14：30
開催方式：対面及びオンライン
開催場所：津田沼キャンパス 37号館101教室
定員：300名
講演内容：生活を豊かにする上で必要不可欠なプラスチックですが、現在環境問題等の原因となるなど注目されています。本公演を通じて、プラスチックの将来や環境汚染（特にマイクロプラスチック）について解説します。

・公開講座Ⅱ

タイトル：『海洋マイクロプラスチックの救世主はダレ？』
講師：土木工学科 准教授 中村倫明
開催日：令和5年12月2日（土）13：00～14：30
開催方式：対面及びオンライン
開催場所：津田沼キャンパス 37号館101教室
定員：300名
講演内容：木材は腐る。金属は錆びる。形あるもの皆すべて、自然界の中に消えていくはずでした。
その理を打ち破ったのは、人間がつくり出した物質、プラスチックです。
本講演では、船橋市でのマイクロプラスチック汚染実態について分かり易く解説します。

テーマ：防災講座～地震災害から学ぶ防災の必要性～

・防災講座

タイトル：『大地震から学ぶこと』

講師：防災リテラシー研究所 太田 敏一

タイトル：『習志野市の災害特性』

講師：習志野市危機管理監 亀崎 智裕

開催日：令和5年11月25日（土）13：00～15：00

開催方式：対面及びオンライン

開催場所：津田沼キャンパス37号館101教室

定員：300名

講演内容：日本という国は世界において類を見ないほどの災害大国である。本講座では講演者が体験した災害（阪神淡路大震災）での被災経験の話や習志野市における災害特性を講演することにより、防災に対する意識や教訓を改めて考え直してもらうことを目的とする講座である。